



(株)ギフライスが やまっ子食堂に毎月お米30kg寄贈



6月7日、(株)ギフライスからやまっ子食堂に対して、毎月お米30kgを寄贈いただけることになり、やまっ子食堂で贈呈式を行いました。

やまっ子食堂は、昨年8月に市の子ども食堂・子ども宅食運営支援事業補助金を活用してオープンした子ども食堂です。

(株)ギフライス社長の恩田喜弘さんは「孤食・個食化が進む中で、少しでも子どもたちの食生活を支えることができればうれしい」と話しました。

VRで浸水体験 命を守る防災講座開催

6月8日、高富中学校で、(一社)中部地域づくり協会の犬飼一博さんを講師に招き、大雨から命を守る防災講座が行われました。

この講座では、近年全国的に頻発する大規模水害を受け、VRによる浸水疑似体験や、ピクトグラムをヒントに制作された「大雨にソナエルピクト」を活用した〇×クイズを行いました。

生徒は意欲的に参加しながら、災害に対する早期避難や事前の備えを学びました。



持続可能な社会に向けて 山県市脱炭素協議会を設立



6月8日、市役所で、山県市脱炭素協議会設立委員会を開催し、協議会設立の賛同を受けて山県市脱炭素協議会が設立されました。

協議会では、企業や市関連団体の関係者が脱炭素をキーワードにしたまちづくりについて協議を行ったほか、各団体の脱炭素実現に向けた取組の報告がありました。

脱炭素化への取組については、今後協議会で継続して協議が行われる予定です。

山県高校の生徒が 学習支援のボランティア

6月14日、美山小学校で行われた放課後子ども教室「Study Habit 教室」で、山県高校の生徒4人が学習支援のボランティア活動を行いました。

この活動は、市内唯一の高校と地域の小中学校との連携事業の一環として行われたものです。生徒は、児童と目線を合わせ、漢字プリントの丸付けをしたり、算数の問題へのアドバイスをしたりしました。

同校の生徒は今後も交代で、子どもたちの学習をサポートする活動を続ける予定です。





将来を担う私たちの主張 山県市少年の主張大会



6月18日、美山中央公民館で山県市少年の主張大会が行われました。10～11ページに優秀賞を受賞した2人の作品を掲載しています。

市大会の受賞者は次のとおりです。

(敬称略)

【優秀賞】村瀬智香(高富中③)、田中乃愛(伊自良中③)

【奨励賞】後藤花帆(高富中①)、夏目梨央(高富中①)、宮崎琥央(伊自良中①)、大野啓一朗(高富中②)、乾心咲(美山中②)、西脇虎汰(高富中③)、藤田彩嘉(美山中③)

山県市老人クラブ 軽スポーツ大会

6月22、23日、山県市総合運動場と伊自良ふれあいさわやかドームで、山県市老人クラブ軽スポーツ大会を開催しました。

参加した110人は、次の3種目を競い合いました。上位に入賞した選手やチームは、10月開催の岐阜地区老人クラブ軽スポーツ大会に出場します。

【ゲートボール】1位 斧田長寿会、2位 東深瀬

【グラウンドゴルフ】1位 山下清子、2位 長屋重秋、3位 石神金雄

【ベタンク】1位 小倉B、2位 小倉D、3位 小倉C



山県市の豊かな自然を学ぶ やまがた森と川の学校



6月上旬から下旬にかけて、市内全小学校5年生を対象に、やまがた森と川の学校を開催しました。

この自然体験学習は、豊かな自然に恵まれたふるさと山県に誇りを持ち、自然の尊さを学ぶことを目的としています。森・川・サバイバルをテーマとし、各学校3日間ずつ行いました。

6月24日に行った森の学習では、児童たちはドローンの映像で森を上から眺めて、森の動植物や森と川のつながりなどを学びました。

第1回SDGsカードゲーム イベント開催

6月24日、市役所で、民間企業の社員と市職員が、第1回SDGsカードゲームイベントに参加しました。

このイベントは、カードゲーム「SDGs de 地方創生」をプレイして、SDGsの考え方を地域の活性化にどう生かすかを学ぶために行いました。参加者は、行政と住民の立場に分かれて、話し合いながらゲームを楽しみました。

市民の皆さんも体験できる機会を設けていますので、詳しくは15ページをご覧ください。



自衛官募集相談員の 委嘱式を開催



6月17日、市役所公室で、自衛官募集相談員の委嘱式を行いました。2年任期の相談員に委嘱されたのは、吉田利雄さん、武藤嘉邦さん、上野敏信さんで、ごなたも10年以上相談員として活躍しています。相談員は自衛官募集について、地域の集会などで説明をしたり、ポスター掲示による周知をしたりするなど精力的に活動しています。

委嘱式の後、相談員と市長、自衛隊岐阜地方協力本部長による積極的な意見交換が行われました。

美山中学校で スマホ・ケータイ安全教室



6月17日、美山中学校で、全校生徒がNTTドコモスマホ・ケータイ安全教室に参加しました。この教室は、スマートフォンや携帯電話の利用に関連したトラブルを防ぐために、オンラインで開催したものです。生徒は、SNSの投稿から個人が特定される危険性などを学びました。メッセージのやりとりがいじめに発展した再発ドラマも視聴し、生徒たちが日頃のスマホの使い方を振り返る良い機会となりました。

スマホの基本操作を学ぶ 高齢者向けスマホ教室



6月3日、富岡公民館で、市内在住の高齢者16人が高齢者向けスマホ教室に参加しました。この教室は、総務省のデジタル活用支援事業の一環で行ったものです。教室では、電話やカメラの基本的な機能のほか、カメラのズーム機能を使うと、文字を大きくして読めるなど、便利な使い方を学びました。SNSを使う演習では、隣の受講者とメッセージでやりとりを行い、スタンプが送信できると歓声が上がりました。

岐阜連携都市圏を知ろう！ ②7

住み続けたいまち 岐阜連携都市圏を目指して

岐阜市、羽島市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町および北方町では、岐阜連携都市圏を形成しています。このコーナーでは、5市3町のことを知っていただくため、各市町のおすすめ情報をお届けします。今月は、本巣市を紹介します。

—— 本巣市のおすすめ情報 ——

真桑人形浄瑠璃、3年ぶりの上演



▲西国三十三力所のうち、第六番札所壱坂寺の
霊験を題材とした「壱坂霊験記 沢市山の段」

真桑人形浄瑠璃は本巣市上真桑の本郷地区に古くから伝わる郷土芸能で、300年以上の歴史を持ち、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

保存会が毎年、物部神社の祭礼に併せて奉納上演しているほか、地元中学校真桑文楽同好会とともに舞台上演を開催するなど、地域の子どもたちへの伝承にも努めています。今回、コロナ禍による中止から3年ぶりの上演となります。

見どころは、浄瑠璃や三味線の音色に合わせて熟演する巧みな人形操りです。1体の人形につき3人の遣い手が魂を吹き込むように操る様は、まさに圧巻の一言。本巣市が誇る伝統芸能をご覧ください。

▶日時 8月20日(土) 14時～

▶場所 本巣市民文化ホール(本巣市軽海718)

岡本巣市教育委員会社会教育課 TEL058-323-7764